



令和2年度福建通常総会の 議案を常任委員会で承認

令和2年度福島県建設技術協会通常総会は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、開催が中止となりました。

通常総会の議案は、「福島県建設技術協会規約第15条(1)」により常任委員会(書面開催)において承認されました。

また、令和2年度役員は、規約に基づき前役員より推薦いただいた次の方々を選出されました。

会 長	福島県土木部次長 (都市担当)	諏江 勇
副 会 長	福島県土木部河川整備課長	中川 善則
	福島県土木部建築指導課長	渡邊 佳文
	福島県県南建設事務所長	加藤 保浩
	須賀川市建設部長	山寺 弘司
会計監事	福島県喜多方建設事務所長	鍋野 浩和
	福島県土木部道路整備課長	矢澤 敏幸

◆ 令和2年度事業計画が承認

令和2年度事業計画が下記のとおり承認されました。

1 組 織 部

- (1) 会員名簿の作成 (2) 全建長期会員表彰者の推薦
- (3) 福建会員管理 (4) 会員顕彰
- (5) 福建「功労賞」表彰 (6) 退職者を励ます会
- (7) 東北地区建設技術協会連合会 広報・技術研鑽奨励賞の報告

2 調 査 部

- (1) 技術力向上に関する支援
技術資格取得支援金、体験感謝礼、アドバイザー謝礼等

3 事 業 部

- (1) 方部別助成
方部別開催事業の助成、震災復興に関する活動
- (2) 文化事業方部助成
地域貢献、ボランティア活動への助成

4 編 集 部

- (1) 機関誌発行 建設ふくしまNo.140及びNo.141の発行
建設ふくしまニュースNo.82の発行

5 研 修 部

- (1) ふくしまの未来を拓く業務発表会

6 事 務 局

- (1) 「伝承プロジェクト」の実施

7 東日本大震災等復興記念事業実行委員会

- (1) 復旧・復興パネル展等

◇ 令和元年度 全建表彰 ◇ (令和元年度役職)

1. 谷口功労賞…鈴木 良治 氏
(福島県土木部技監)
2. 東北地区 …和田 眞 氏
建設技術協会 (福島県土木部次長 (道路担当))
連合会長賞 鈴木 伸夫 氏
(福島県企業局次長)
菊田 秀之 氏
(福島市建設部長)
3. 全建功労賞…川音 真悦 氏
(福島県建築指導課長)
桶田 隆司 氏
(福島県相双建設事務所長)
猪狩 倫 氏
(福島県相馬港湾建設事務所長)

第657回 建設技術講習会 (福島県開催)

令和元年10月30日(水)～11月1日(金)の3日間で、台風19号に伴う復旧作業等で多忙のなか、皆様にご協力いただき「災害に強い安全な国土づくり」をテーマに、全国から248名の参加を得て開催されました。



全 建 賞 受 賞 報 告

東日本大震災の復旧・復興が本格化し、復旧・復興関係事業の応募が年々増加していることから、平成26年度全建賞より、通常とは別枠として新たに「特別枠」が設けられ、令和元年度は本県より特別枠4件が受賞しました。

●全建賞〔東日本大震災に係る復旧・復興事業特別枠〕

＜事業名＞ 県道広野小高線 檜葉地区・天神大橋整備事業
＜受賞機関＞ 富岡土木事務所

津波被災地域を南北に縦断する通称「浜街道」の道路整備事業。

天神大橋は、周辺の景観資源（太平洋・木戸川・天神岬）に配慮し、コンクリート上部工形式に曲面ウェブ箱桁を採用した。この特殊な主桁形状実現のため、型枠工、打設工および緊張工の各施工段階に特段の工夫を行った。



＜事業名＞ いわき建設事務所管内の防災緑地事業（7箇所）
＜受賞機関＞ いわき建設事務所

いわき建設事務所管内の沿岸部で総合的な防災力の高いまちづくりを目指し、管内7地区で防災緑地を整備。令和元年10月8日に全ての防災緑地が完成した。

防災緑地の計画策定には、地域の方々と交えたワークショップを開催し様々な意見を取り入れたほか、小学生など地域の方々に地域のドングリを採取してもらい、苗木を育て、その苗木を防災緑地に植樹してもらう「ドングリプロジェクト」などを開催し、地域の方々と一緒に育み、愛される防災緑地づくりを行った。



＜事業名＞ 大熊町大川原地区災害公営住宅等整備事業（第1期）
＜受賞機関＞ 大熊町、福島県（建築総室）

原子力災害により避難を余儀なくされた大熊町民や新たに町へ移住される方々が、安心して暮らしながら新しいコミュニティを構築する居住環境とするため、災害公営住宅等90戸を整備。団地内に中央広場、辻広場及びサークル広場といった様々な交流空間を配置するとともに、コミュニティベンチなどを点在させ、人々が集まり、お互いが支えあえる新しいコミュニティが生まれるまちを創造した。特に、高校生が製作・設置したコミュニティベンチは、入居者のコミュニティ形成の支援に大きく寄与している。



＜事業名＞ 福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校整備事業
＜受賞機関＞ 福島県（建築総室）

東日本大震災及び原子力災害により避難を余儀なくされた双葉郡内の教育環境を改善し、地域振興の核となる人材や全国・世界で活躍できる人材を育成するため、広野町に整備した中高一貫校。

土工事においてはICT施工を採用し、省力化や安全性・精度の向上を図り、工事が転換する現場の工期短縮を実現した。また、地域協働スペースの木製ルーバー天井ではモックアップを製作し、取合い等を丹念に調整しながらきめ細かに施工し、意匠性や機能性を確保した。



谷 口 功 労 賞 受 賞

福島県土木部技監 鈴木 良 治

昭和60年に入会以来、積極的に協会活動に参画され、調査部副部長や常任委員を歴任するなど、協会の事業の推進及び発展に大きく貢献されました。特に、常任委員在任中は、復興元年特別報告会や、新潟・福島豪雨の被災の復旧現場等の現場研修会を開催し、県内から多数の参加を得て、会員の技術力向上に貢献されました。

◆事務局◆

（福島県土木部道路総室 TEL 024-521-9820 FAX 024-521-7951）

- ・ 事務局長 高坂 宏哉（道路整備課主幹兼副課長）
- ・ 副事務局長 服部 典之（道路整備課主任主査）
- ・ 書記 原田 拓也（道路管理課主査）
- ・ 総務 加澤 卓（道路計画課副主査）
- ・ 会計 兼田 雅晴（道路管理課主査）
- ・ 庶務 片岡 一男（高速道路室主査）
- ・ 事務局 遠藤季代子

◆編集部◆

（福島県土木部まちづくり推進課 TEL 024-521-7511 FAX 024-521-7956）

事務局よりお知らせ

会費について

●正会員 月会費700円（全建320円＋福建380円）

●準会員 年会費（4月1日現在）80歳未満5,000円、80歳以上2,000円
納入方法は、「銀行振込」または「事務局へ持参」のどちらかでお願
いしております。

「銀行振込」の場合

振込銀行口座：東邦銀行県庁支店 普通口座 No.1719

福島県建設技術協会 会長 諏江 勇

*手数料はご本人の負担となります。

*準会員の方は、必ずご本人のお名前でお振り込みください。

「事務局へ持参」の場合

事務局所在：福島市杉妻町2-16 県庁土木部道路整備課内
（本庁舎4階）事務局員 遠藤季代子

